

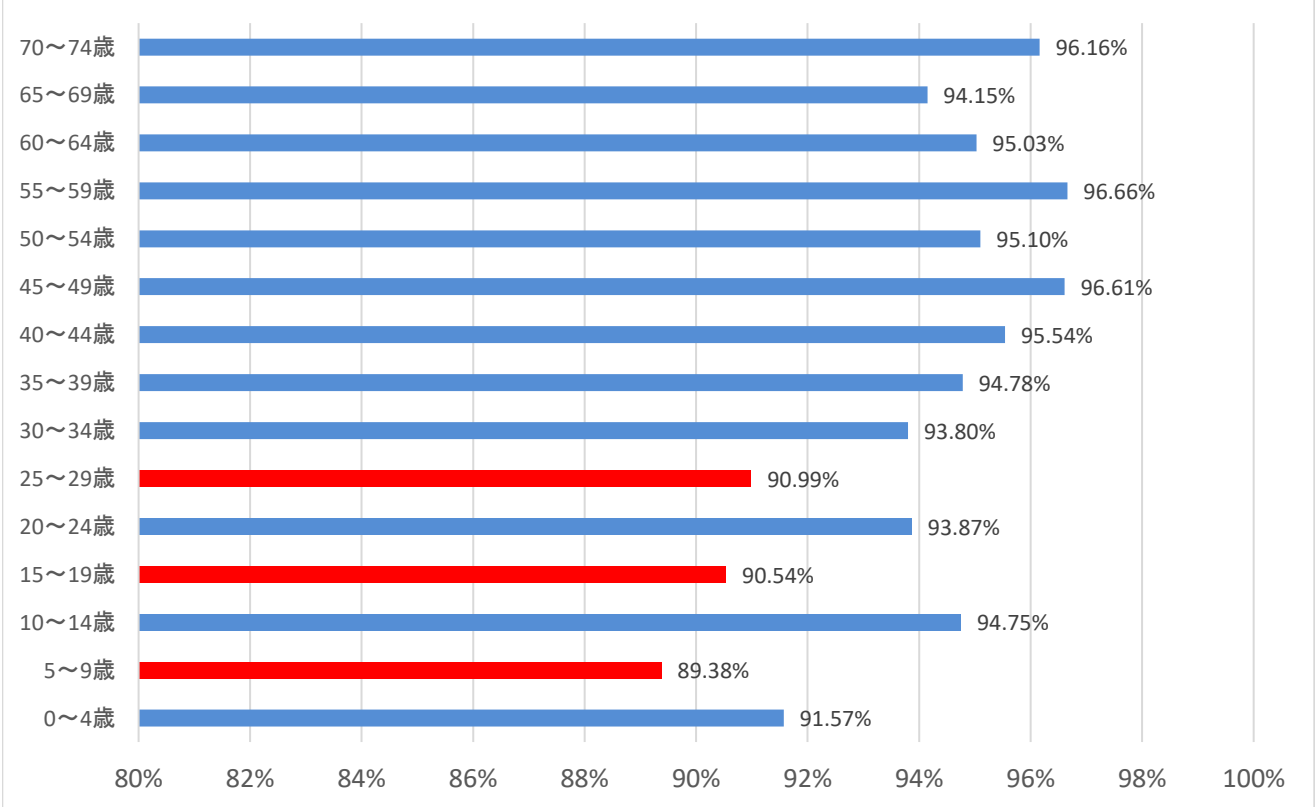
ジェネリック医薬品使用状況

共済組合では、データヘルス計画に基づき医療費増高対策の一環として、ジェネリック医薬品の使用促進を行っております。ジェネリック医薬品とは、先発医薬品の特許が切れた後に販売される先発医薬品と治療学的に同等であるものとして販売される価格の安いお薬です。

年齢別ジェネリック医薬品の使用割合をしてみると、全体の使用割合は94.31%と高い水準となっておりますが、若年層(赤いグラフ)の使用割合は低い傾向が見て取れます。

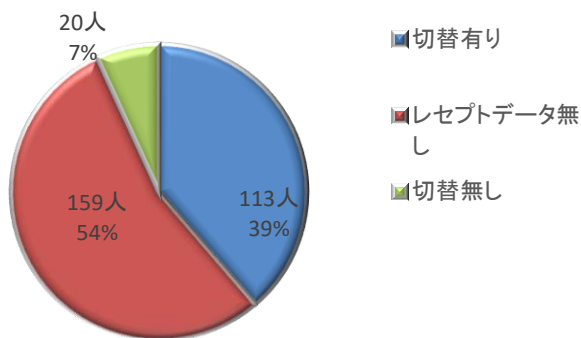
現在、共済組合は交付金を受けての厳しい財政運営となっており、医療費の削減ならびに目標値維持のために引き続きご協力をお願いいたします。

年齢別ジェネリック使用割合(令和6年11月時点)

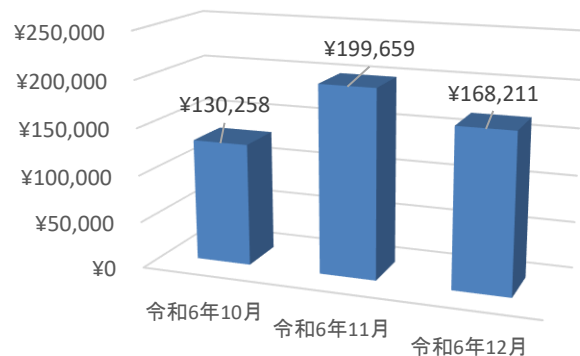


ジェネリック医薬品差額通知による切替状況と効果測定

発送対象者 292人



削減額



令和6年8月に通知発送後の令和6年10月から12月までの効果測定をみると、削減できた金額は3ヶ月の累計で498,128円となりました。

未だに発送対象者の約5割の方が切替を行っていないことから、医療費の削減並びにジェネリック使用割合の90%以上を維持するために、皆様のさらなるご協力をよろしくお願いいたします。

